

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果報告について

1 調査の概要

- (1) 目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における学習指導の改善・充実に役立てる
- (2) 実施日 令和8年4月23日(木)
- (3) 対象 小学校6学年児童・中学校3学年生徒
- (4) 実施教科 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語

2 各教科の結果

表中の数字は平均正答率(%)を表している。(ただし中学校英語は「500」を基準としたIRTスコア)

<小学校>

<中学校>

※(下段)は全国との差	国語	算数
青森市	65	58
青森県	60	55
全国(公立)	60.9	56.4

国語	数学	英語 (3技能)
65	57	486
63	55	476
63.9	57.0	499

※思考力・判断力・表現力を問う問題については、小学校の国語・算数、中学校の国語において全国を上回っている。

※全国平均正答率については少数第1位まで示され、県及び市の平均正答率は少数点以下を四捨五入した整数で発表される。

※英語「話すこと」の調査結果は秋頃に公開予定。

3 児童・生徒質問調査の結果

(数字は肯定的な回答をした割合…%)

番号	本市の授業改善の取組内容	質問事項		小学校 (全国との差)	中学校 (全国との差)
①	個別最適な学び	授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている	青森市	85.6(+4.8)	84.0(+5.1)
			県	83.0(+2.2)	79.9(+1.0)
			全国	80.8	78.9
②	主体的な学び	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	青森市	85.9(+8.3)	82.6(+3.8)
			県	80.4(+2.8)	79.2(+0.4)
			全国	77.6	78.8
③	協働的な学び	話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする	青森市	92.2(+6.5)	90.7(+3.7)
			県	87.5(+1.8)	89.1(+2.1)
			全国	85.7	87.0
④	指導と評価の一体化	分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる	青森市	88.1(+9.7)	84.4(+5.4)
			県	82.4(+4.0)	80.3(+1.3)
			全国	78.4	79.0
		先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている	青森市	92.4(+5.1)	91.0(+5.8)
			県	90.2(+2.9)	89.1(+3.9)
			全国	87.3	85.2
⑤	探究的な学び	学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている	青森市	81.8(+8.4)	75.9(+5.1)
			県	76.0(+2.6)	71.5(+0.7)
			全国	73.4	70.8

○全ての項目において、肯定的に回答する児童・生徒の割合が、小、中学校とも県及び全国以上となっている。
小学校では特に5項目において、中学校では特に4項目において全国を大きく上回る成果をあげている。

4 今後の取組

- (1) 上記①～⑤5項目をマネジメントする教師のファシリテーション能力を高め、つながりのある授業の充実(特に③と④の関連)
- (2) 教育DX(AIドリル教材)の効果的な活用等による「自律した学習者」の育成
- (3) 中学校英語は全国とほぼ同等の結果であるものの、「聞くこと」「書くこと」の指導の充実が必要
- (4) 次年度の全国学力・学習状況調査について、継続して参加、協力する意向